

## 信濃川沿川のインフラ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを開催します ～大河津分水通水 100 周年記念～

「大河津分水通水 100 周年×JR 信濃川発電所 デジタルスタンプラリー」

- JR 東日本と国土交通省 信濃川河川事務所では、信濃川沿川に JR 信濃川発電所や大河津分水等、地域の皆さまの生活を支える多くのインフラ施設を所有・管理しています。
- このたび両者が連携し、「大河津分水通水 100 周年記念事業」にあわせて、十日町市宮中取水ダムから燕市大河津分水をめぐるイベント「大河津分水通水 100 周年×JR 信濃川発電所デジタルスタンプラリー」を開催いたします。
- ぜひ、大河津分水の歴史や今年で開業 150 年を迎える日本の鉄道事業を支える信濃川発電所など、信濃川沿川のインフラ施設の壮大さを感じていただきながらオリジナルのデジタルスタンプを集めて、ステキな賞品を手に入れてください。


### 1. イベントの概要

#### (1) イベント実施期間

2022 年 4 月 1 日 (金) ～ 2022 年 9 月 25 日 (日)

#### (2) デジタルスタンプの配置箇所

信濃川沿川インフラ施設 10 か所にスタンプを配置しています。

No	施設名 (JR東日本関連施設)		No	施設名 (国土交通省関連施設)
⑤	おちゃ～る (市民の家・ 小千谷信濃川水力発電館)		⑩	新第二床固 (建設中) (にどこみえ～る館)
④	山本調整池・山本第二調整池		⑨	大河津可動堰 信濃川大河津資料館
③	千手発電所		⑧	大河津洗堰
②	浅河原調整池		⑦	横田破堤記念碑
①	宮中取水ダム		⑥	妙見堰

### (3) オリジナルスタンプデザイン



※デザインはイメージです。

### (4) 参加方法

- ①スマートフォンでアプリ「SpotTour」(無料)をお客さまご自身でダウンロード  
【参考サイト】SpotTour : <https://spottour.jp/>
- ②検索でツアーコード「62490」を入力
- ③「大河津分水通水100周年×JR信濃川発電所 デジタルスタンプラリー」を選択
- ④信濃川のインフラ施設を訪れて「デジタルスタンプ」をゲット



〈SpotTour タイトル画面イメージ〉



「SpotTour」アプリのダウンロードはこちら

### (5) 賞品

#### ①参加賞

スタンプ3つ以上集めていただいた方に以下のいずれかの賞品をプレゼントします。



大河津分水オリジナルグッズ  
(例：通水100周年記念缶バッチ)



信濃川発電所オリジナルグッズ  
(例：E7系ストラップ)

#### ②コンプリート賞

全箇所スタンプを集めていただいた方に以下の賞品をプレゼントします。



ダム(堰)カード(8種類)のセット

#### 【引換箇所および引換方法】

「信濃川大河津資料館」または「おちゃ〜る(市民の家・小千谷信濃川水力発電館)」にて、係員に画面をご提示いただき、賞品をお受け取り下さい。なお、引換は賞品が無くなり次第、終了させていただきます。また、賞品は変更となる可能性があります。

## 2. その他

- ・デジタルスタンプラリーは無料でご参加いただけますが、各施設までの交通費および通信料はお客様のご負担となります。
- ・各施設へのお出かけの際はマスクの着用や手指の消毒など、新型コロナウイルス感染症予防へのご協力をお願いします。

※イベントの内容は予告なく変更または中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各施設の見学をされる場合は、営業日や営業時間等をホームページ等でご確認ください。

※悪天候等により、河川の増水等が想定される場合は、川の近くには近寄らないでください。

### 参考

#### 【JR 東日本信濃川発電所について】

JR 東日本信濃川発電所は、新潟県十日町市・小千谷市にある、信濃川水系から取水した水を利用して発電している水力発電所です。ここで発電した電気は、首都圏や上越線、新幹線の電車や鉄道施設などに送られており、鉄道事業を支えるエネルギー源として重要な役割を担っています。

デジタルスタンプ配置箇所である「おちゃ〜る（市民の家・小千谷信濃川水力発電館）」では、JR 信濃川発電所の水力発電のしくみや歴史を学び、ご体感いただくことができます。

#### 【大河津分水について】

国土交通省信濃川河川事務所が管理する大河津分水は、新潟県燕市および長岡市に位置し、洪水から越後平野を守ることを目的につくられた人工の河川です。信濃川の水を水量に応じて機能的に日本海へ流す役割を担っており、今年で通水 100 周年を迎える重要な施設です。

「信濃川大河津資料館」では、大河津分水に関して、分水をつくることになった歴史や役割、先人の苦労などを学んでいただくことができます。

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会、新潟県政クラブ、新潟県政クラブ等にお届けしています。

#### 【報道機関お問合せ先】

デジタルスタンプラリーに関する問い合わせ先：

東日本旅客鉄道株式会社 広報部 報道グループ TEL：03-5334-1300

大河津分水通水 100 周年に関する問い合わせ先：

国土交通省 信濃川河川事務所調査課 TEL：0258-32-3243